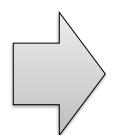
次期「県立高等学校活性化計画(仮称)」(案)の構成(現行計画との比較)

現行計画

- 1 はじめに
 - (1) これまでの経緯
 - (2)策定の趣旨
 - (3)計画期間
- 2 県立高等学校をめぐる現状と課題
 - (1) 社会の変化
 - (2)教育をめぐる動き
 - (3)ニーズの多様化
 - (4) 中学校卒業者数の減少
- 3 県立高等学校活性化の基本的な考え方
 - (1)新しい時代を生き抜いていく力の育成
 - (2) 生命を大切にする心を育み一人ひとりに応じた教育の実現
 - (3) 人口減少社会における高等学校のあり方
 - (4) 学校の組織力と教職員の資質の向上
- 4 県立高等学校活性化のための取組
 - (1)新しい時代に求められる学びへの変革
 - ①主体的で深い学びに協働して取り組む教育の充実
 - ②生徒の成長を促す評価方法の改善
 - ③カリキュラム・マネジメントを取り入れた学校教育の改善
 - ④ | C | 活用による学びの充実
 - ⑤特別活動等の充実
 - (2) 社会とつながり貢献する力の育成
 - ①社会の一員としての自覚と責任を育む教育の推進
 - ②グローカル人材の育成
 - ③キャリア教育の推進
 - ③学校の枠を越えた学びの充実
 - (3) 生徒一人ひとりに応じた多様な教育の推進
 - ①学びに向かう力を育む教育の推進
 - ②特別支援教育の充実
 - ③定時制教育・通信制教育の充実
 - ④外国人生徒教育の充実
 - ⑤経済的に不利な環境にある生徒への支援
 - (4)地域で学び地域を活かす教育の推進
 - ①地域を学び場とした教育の充実
 - ②大学等と連携した教育の推進
 - ③産業界と連携した教育の推進
 - ④地域に根ざした防災教育の推進
 - (5)新しい「学び」と多様で専門的な教育を実践する教職員の育成
 - ①授業力の向上
 - ②多様な教育課題への対応
 - ③組織運営体制の強化による教育活動の質の向上
- 5 社会の変化に対応した県立高等学校のあり方
 - (1) 各学科の活性化の現状と課題
 - ①現状と課題
 - ②各学科の活性化の方向性
 - (2) 県立高等学校の規模と配置について
 - ①基本的な考え方
 - ②高等学校の規模と配置



次期計画 (案)

- 1 はじめに
 - (1) これまでの経緯
 - (2) 本計画策定の趣旨
- (3) 本計画の期間
- 2 高校教育を取り巻く状況
 - (1) 社会の変化
 - (2)教育をめぐる動き
 - (3)教育的ニーズの多様化
 - (4) 高校生の意識
 - (5) 選挙権年齢・成年年齢の引き下げ
- 3 県立高等学校活性化の基本的な考え方
 - (1) 自律した学習者を育てる学びの推進
 - (2) これからの社会の担い手となる力の育成
 - (3)誰一人取り残さない教育の推進
 - (4)人口減少に対応した学びの推進
- (5)子どもたちに必要な学びの実現に向けた教職員の資質向上と学校経営改善
- 4 基本的な考え方をふまえた県立高等学校活性化の取組
 - (1) 自律した学習者を育てる学びの推進
 - ①基礎・基本を重視し自己肯定感を高める教育の推進
 - ②キャリア教育の推進
 - ③探究活動の推進
 - ④高等教育機関等と連携した教育の推進
 - ⑤地域に根ざした教育の推進
 - ⑥ I C T の活用による学びの推進
 - (2) これからの社会の担い手となる力の育成
 - ①よりよく生きようとする態度の育成
 - ②社会の一員としての自覚と責任の育成
 - ③グローカル教育の推進
 - (3)誰一人取り残さない教育の推進
 - ①特別な支援を必要とする生徒への支援
 - ②不登校の状況にある生徒等への支援
 - ③日本語指導が必要な生徒への支援
 - ④経済的困難な状況にある生徒への支援
 - ⑤学びに向かう力を育む教育の推進
 - (4)人口減少に対応した学びの推進
 - ①学習活動の機会の確保
 - ②協働の学びの機会の確保
 - (5)子どもたちに必要な学びの実現に向けた教職員の資質向上と学校経営改善
 - ①伴走者としての教職員の育成
 - ②授業力の向上
 - ③組織運営体制の強化による教育活動の活性化
 - (6) これからの時代に必要な力を育む県立高等学校の各学科・課程の活性化
 - ①普通科·普通科系専門学科
 - ②職業系専門学科
 - ③総合学科
 - ④定時制課程·通信制課程
- 5 これからの時代に求められる学びを提供できる県立高等学校のあり方